

東京教区時報

第1060号
2007年12月9日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代祷・信施奉献先
▽世界エイズデー▽聖書の主日
(降臨節第2主日)▽聖救主福音
社会▽部落解放キリスト者運動
のため

「奉献先から」

聖書の主日

日本聖公会では、礼拝において公式に用いる聖書は「日本聖書協会」の発行するものと定められている。今日使用している「新共同訳」聖書が刊行されて20周年を迎えた。世界で聖書頒布事業を担う聖書協会は、1804年に英国から始まって以来各国に働きが挙げられ、現在は130余カ国に設けられている。また降臨節第2主日を世界聖書日曜日(バイブルサンデー)と呼ぶのは、約450年前英国聖公会が第一祈禱書作成

時に、その日の祈りの課題を「聖書が与えられたことを感謝する」としたのを、英国聖書協会が受け継いだとされている。

日本聖書協会は「ここ数年、とくに「海外聖書製作」に力を注ぎ、戦争・政情不安による地域や少数民族による聖書頒布のために支援を行っている。例えば、エジプトのアラビア語、東ティモールのファタルク語、カンボジアのク

▽12月ランチタイムコンサート

・聖パウロ教会 14日(金) 12時20分、Or野田美香 ・聖テモテ教会 18日(火) 12時30分、Or齋藤芽子 ・神田キリスト教会 19日(水) 12時20分、Or和田純子 (いずれも30分程度・入場無料)

今週・来週の予定 12月9日～22日

- 9(日) 降臨節第2主日
主教巡回
東京聖十字教会
- 10(月) 幼稚園委員会
- 11(火) 銀座朝拝会
常置委員会
- 13(木) 信仰と生活委員会
- 14(金) 月島聖公会…特別委員会
聖職養成委員会
外濠G牧師協議会 (目白)
- 16(日) 降臨節第3主日
合同堅信式 (主教座)
- 17(月) 財政委員会
- 18(火) 教区企画室
- 19(水) 教役者レクイエム (主教座)
正義と平和協議会
運営委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

教会は降臨節に入り新しい年を迎えている。このところ、教会には新来者が続いてお見えになり、迎える牧師も、自分が初めて教会の扉を開けたときのことを思い起こし、初心に帰り、身の引き締まる思いである。

仕事をリタイアし

《恵みに生かされて》

て後、これからも続く長い人生を考えて、あるいは学生時代に受洗してから、卒業と同時に教会から離れた方が、教会を思い出し、数十年前ぶりに教会に来られる。しかも、ご夫婦でそろってお出でになることもある。

司祭

鈴木裕二

か、どこで蒔かれたのり、大きな喜びを感じる。いつ蒔かれたのり、実りを結んでいく過程を見るようである。人間の考えを超越して、思いがけずにあるいは忘れた頃に、教会に導かれることもある。それが、教会にふさわしい時を神様が与えてくださる。それが神様からの不思議な恵みである。

蒔かれた種のゆくえ

また、教会での葬儀の際、亡くなった親や祖父母の信仰心に触れ、それをきっかけに教会に来られることもある。これらの方は大抵中高年世代であるが、決し

て若い人がいないわけではない。通う学校で勧められて、礼拝に出席する中高生や大学生もいる。そして聖餐式では、陪餐の列に加わり胸に手を当て、祝福を受ける方が続いている(比率としては礼拝出席者の一割を超えている)。

◇財政事情をあらためて:

教区財政の基盤となるのは各教会から拠出される教区分担金…。今回の教区会で承認された「08年度教区一般会計予算では収入源(3億7百万余)の約92%を占めるに至った。ここ数年は、各教会の負担を抑え据え置かれたままだったのが今年、資金取崩しをして補填する状況となった。その資金も数年後には底をつく形が見えてきたため止むなく増額(1千2百万余円増)：との状況が教区会で説明された。深刻さを増している教区・教会財政の健全化対策の必要性が、財政委員会(委員長・横倉正義)よりあらためて訴えられた。

そうした状況は、今秋9月から毎月、発行・配付されている

「財政委員会だより」でも報告されている。教区分担金の用途、

各教会受聖餐者数と通常・感謝献金など分担金算出基準：を含めて、来春まで7回シリーズで展開の予定。08年度教会予算の作成、受聖餐者総会：を前にして、財政委員会の示す財政事情を知るの一助となるう。

▽キャロリング・フォー・ピース

(NCC・平和を実現するキリスト者ネット) 12月14日(金)17時、東京ユニオンチャーチ(渋谷・表参道)で受付、平和を求める祈りのあと19時よりキャンドル行進。ペンライトを携えハンドベルと歌声を響かせて原宿・渋谷へ、約30分。照会☎03(5272)8312。

▽「障害者」関連活動連絡会支

援イベント おはなし夢「夢」

企画主催、同活動連絡会・牛込聖公会聖バルナバ教会後援で「尾松純子・語りの世界」オフエリアと影の一座・『ろくでなしのサンタ』(賛助出演Vn独奏・天野英彦)。15日(土)14時・18時開演の昼夜2部制、同教会で。入場料2千円(当日券2千3百円)。

照会☎04(2958)5861。

▽東京聖三一教会クリスマス

ファミリーコンサート☆平和の祈り 16日(日)14時30分、出演Ⅱソプラノ黒沢紀子、ハープ渡辺かや、教会聖歌隊、同教会アンサンブル他。入場無料。☎03(3421)3646。

▽東京聖マリア教会「平和を

祈るクリスマス・コンサート」16日(日)14時、出演Ⅱコンビ

【教区会可決議案】2

インターネット活用検討

特別委員会設置の件

PC、その他情報端末と呼ばれる機材の普及は著しく、また相補的にインターネット等(IT)の利用も多岐多様に。いまだ多くの人びとにとって、日々の生活と切り離すことができないものとなっただけです。

東京教区では、PCの教区事務所への設置に端を発し、その後の宣教委員会(当時)の主導、広報・教財務サービス両委員会の協働による、教区HP開設やEメールの導入など、コミュニケーションの道具としてのITの利用が徐々に広がってきました。さらに最近では、より有効な利用方法の検討を求める要望が

教区会などでも聞かれるようになっていました。

そこで、教財務サービス委員会を中心に協議され、よりよい利用の方法については新たな場を設け検討することが適当ということになり、教区企画室とともに提案して本委員会の設置が決まりました。教区・教会・委員会からの発信、情報共有、より広範囲な情報交換システムなど、さまざまな展開が考えられます。これから約2年間、多面多様に、また集中的な研究や協議を重ね、ITを用いた情報共有や教区の宣教の働きについて、可能性や具体的な方策の提案をこの検討いただくこととなります。

教財務サービス委員会委員長

司祭 下条裕章

ニ・デイ・クリスタ、ピアノⅡ織田祥代。入場無料(会場献金・ヨルダンの視覚障害児施設のため)。☎03(3492)2982。

▽立教女学院聖マーガレット

礼拝堂の主日クリスマス礼拝 16日(日)10時よりシャルパンティエ作曲「真夜中のミサ」による音楽礼拝。説教Ⅱ佐々木道人司祭、奏楽Ⅱ岩崎真実子、合唱Ⅱ同礼拝堂聖歌隊とリコーダー・ヴィオラダガンバアンサンブル。☎03(5370)3038。

▽滝乃川学園資料展示会 創

立者生誕140周年を記念する実績資料展がくにたち郷土文化館(国立市谷保)で開催中。同館主催の秋季企画展で24日(月)休)まで。観覧無料。会場☎042(576)0211。